



「言葉のイントネーションにこだわっているんです。一語ずつ細かく注意して、曲を考えたので、一番から三番までそれぞれ少しずつ違つメロディーになりました。市民音楽祭でこの曲

## 曲作りで人の輪を広げたい

前橋市民音楽連盟が募集した「市民のうた」の作曲で、市長賞に選ばれた(15 に関連記事)。

「作曲のコンテストに応募したのは初めて。最高賞の市長賞をいただいたと連絡を受け、とてもうれしかったです。簡潔で内容が分かりやすい歌詞だったので、曲が作りやすく主旋律はすぐにぱつと浮かびました」

しかし、完成までには作り直しを重ね、作品が仕上がるまでには一、三週間かかった。

「言葉のイントネーションにこだわっているんです。一語ずつ細かく注意して、曲を考えた



「市民のうた」作曲で市長賞  
原 栄一さん(51)  
三河町一丁目

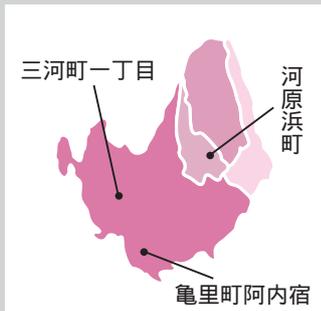
を披露するときは、ピアノ伴奏をするつもり。世界に一つしかない自分の曲を多くの人たちに聴いてもらえるのだから、今からとても楽しみです」

叔母がピアノの先生をしていて、小四のころから習い始めた。音楽がどんどん好きになって、群馬大教育学部で音楽を専攻。その後、作曲のプロを目指して五年間、勉強に専念したという。

「今は家業を継ぎ、運送・倉庫業の仕事をしています。毎日一時間はピアノを弾いています。休みには同世代の友人たちとアマチュアコンサートを聞き、仕事のストレス発散を図っているんです。音楽の輪をますます広げていって、老後もみんなと楽しく続けていきたいな」  
小さいころから愛し続けてきた音楽。美しい曲を紡ぎ、人の心に音色を響かせていく。

# ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



## 世代超え楽しむ スマイルボウル

下川淵地区

五月五日、亀里町阿内宿の町公民館でスマイルボウリング大会が開かれました。自治会の主催で毎年二回、十年以上も続いています。当日は好天に恵まれ、子どもからお年寄りまで六十人が参加。九チームに分かれて競い合い、今年から最高齢を祝福する豊饒賞も贈られました。また、競技終了後は昼食を兼ねた



懇親会。鉄板で作った焼きそばなどを食べ親ほくを深めました。加藤芳平自治会長は「誰もが楽しめる競技。触れ合いの貴重な機会を続けていきたいです」と話していました。

## まちなニュース

## 新緑の中での 太々神楽奉納

大胡地区



五月三日、河原浜町の大胡神社で、足軽町太々神楽保存会が行う太々神楽が奉納されました。これは、五穀豊穡と無病息災を祈願して毎年大胡神社の祭典に行われているもの。舞いながらお菓子を投げると、子どもたちは大喜び。笛や太鼓の音に呼応するように、観客の拍手と伝統芸能を撮影しようとするカメラマンのシャッター音が新緑の境内に響いていました。

保存会代表の中町長男さんは、「地区の伝統行事なので大切に、後継者を育てたいです」と話していました。